

事務事業名	民生委員活動費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3114

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 35 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	民生委員児童委員は、厚生労働大臣からの委嘱を受けて一期3年の任期で地域福祉の推進役として活動しており、市内16地区に単位民生委員児童委員協議会を組織している。民生委員児童委員協議会運営のための会議や、委員の相談技術等向上を目的とした研修会を開催する。また、地区社会福祉協議会等の関連団体とともに地域福祉推進を図るため、活動費の支援を行う。						
対象	4. その他	民生委員児童委員			520 人		
根拠法令等	法律等	民生委員法, 民生委員法施行令					
事業実施内容	地域福祉の推進役として住民に必要な援助を行い、行政との橋渡し役を務める民生委員児童委員の活動を推進するために必要な支援を行った。 また、四部会(低所得者, 高齢者, 児童, 障がい者)及び主任児童委員連絡会において各々のテーマに沿った研修を行い、民生委員児童委員活動に必要な知識を習得し、対応力の向上を図った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 16地区民生委員児童委員協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 64,766 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	31,165 千円	非常勤職員(日額:推薦会委員・月額:民生委員)報酬
		旅費	30,241 千円	民生委員費用弁償
		報償費	30 千円	研修講師謝礼
		負担金補助及び交付金	3,250 千円	藤沢市民生委員児童委員活動費負担金
その他	80 千円	需用費・役務費		
財源内訳	R2年度 支出済額 64,766 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	33,537 千円	
その他 ( )				
一般財源	31,229 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.85人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.85人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	80,740	78,890	76,194	72,116			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	81,117	79,353	76,937	73,026			
	事業費(支出済額)	66,617	65,862	65,761	64,766			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,500	13,491	11,176	8,260			
	①常時勤務職員等の給与等	13,829	12,834	10,512	7,358			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	442			
	③退職金相当額	671	657	664	460			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-377	-463	-743	-910			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-377	-463	-743	-910			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	188.87	427,501	183.76	429,317	175.94	433,060	165.74	435,121

成果実績	指標名	相談・支援件数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
			実績	6,262	単位 件	6,434	単位 件	5,639	単位 件	5,375	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		「相談・支援件数」は数値としては少ないほうが好ましいため、目標数値の設定はできない。								
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)		12,893.64		12,261.42		13,511.97		13,416.93			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	民生委員児童委員の負担軽減及びなり手不足の解消
(2) 課題解決のための今後の取組	平成30年度に策定した「民生委員児童委員が活動しやすい環境整備に向けた調査結果～市としての支援方針～」に基づき、欠員が生じている地区の地区割りの見直しや、フォロー体制の構築等について検討しながら、地域情勢に即した民生委員児童委員活動の支援を行っていく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議や研修の開催方法の見直しを行うなど、新しい生活様式に鑑みた民生委員児童委員活動を模索しながら、民生委員児童委員活動を支えるための支援を行った。その結果、民生委員児童委員は地域住民に適切な援助を行うとともに、地域と行政・支援機関等との橋渡し役として活躍し、地域福祉の推進に寄与することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	民生委員児童委員は、地域福祉の担い手として重要な存在であり、藤沢市の福祉施策を共に推進していくためにも不可欠であることから、今後も継続して支援を行っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
8	民生委員に関すること	無	無	2	3
9	民生委員に関すること(民生委員児童委員協議会の支出・収入に関すること)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	社会福祉協議会関係費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課				
												新部課名	福祉部福祉総務課				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3113	

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 44 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域福祉推進の中核として各種福祉事業を実施している藤沢市社会福祉協議会に対して、団体運営に係る職員人件費の助成を行うとともに、福祉資金貸付金・修学旅行費貸付金の原資の貸付事業、行旅人等への旅費支給事業を実施する。						
対象	1. 個人	市民			435,121 人		
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市社会福祉協議会補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市社会福祉協議会に対する団体運営に係る人件費を補助することにより、地域福祉の推進をしている藤沢市社会福祉協議会の安定した運営を図った。また、行旅人等への旅費支給事業、福祉資金貸付金・修学旅行費貸付金の原資の貸付事業を実施した。 1. 行旅人等への旅費支給人数 38人 2. 福祉資金貸付件数及び金額 675件, 14,998,000円 3. 修学旅行費貸付件数及び金額 19件, 863,000円						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (社福)藤沢市社会福祉協議会) (委託等内容 : 行旅人等への旅費支給業務委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : (社福)藤沢市社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 99,873 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	8 千円	行旅人等旅費支給業務委託
		負担金補助及び交付金	89,865 千円	人件費等補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 99,873 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (市社協貸付金元金収入)	10,000 千円			
一般財源	89,873 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.30人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	191,641	126,061	134,968	101,120			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	191,716	125,190	134,358	102,632			
	事業費(支出済額)	188,816	119,408	126,583	99,873			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,900	5,782	7,775	2,759			
	①常時勤務職員等の給与等	2,766	5,500	7,313	2,597			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	134	282	462	162			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-75	871	610	-1,512			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-75	871	610	-1,512			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	448.28	427,501	293.63	429,317	311.66	433,060	232.40	435,121

成果実績	指標名	行旅人等への旅費支給件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			33	単位	37	単位	33	単位	38	単位
					人		人		人		人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		行旅途中の所持金の紛失対応等によるものとなり、支給件数について目標を設定できないため。								
	実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)		5,807,303.03		3,407,054.05		4,089,939.39		2,661,052.63		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	地域福祉の推進に向けて、本市と社会福祉協議会との連携の重要性が増していく中で、効率的な執行体制について検討を行う必要がある。また、健全な団体運営を継続できるよう、セーフティネットの維持を視野に入れながら、事業の見直しや効率化に向けた取組が必要となる。
(2) 課題解決のための今後の取組	地域福祉の推進に当たり、藤沢市社会福祉協議会は必要不可欠な存在であるため、その補助等を継続しながら、事業の見直しや効率化に向けた協議を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市社会福祉協議会への補助や福祉資金等の原資の貸付けを通じて、各種の福祉事業や新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための生活福祉資金の貸付け等に係るつなぎ資金の対応が実施され、市民の生活福祉の向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市社会福祉協議会の実施する多様な福祉事業については、本市の地域福祉の推進や市民生活のセーフティネットの維持につながることから、地域福祉推進の中心的な存在である藤沢市社会福祉協議会への補助等は現状のまま維持する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	社会福祉協議会の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	1	
3	行旅人旅費支給事業に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	地域福祉活動助成費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	008	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3113

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市社会福祉協議会が地域福祉を推進するために実施する地区社会福祉協議会への助成等に係る経費を補助する。また、更生保護活動を推進する藤沢地区保護司会の活動費を補助する。 ※本事業費は令和3年度から事業名を変更したもの(旧事業名:地域福祉推進事業費)						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市地域福祉活動助成金交付要綱, 藤沢地区保護司会補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市社会福祉協議会が地域福祉を推進するために実施する地区社会福祉協議会への助成等に係る経費や地域活動ホームの運営費を補助した。なお、更生保護活動を推進する藤沢地区保護司会への活動費の補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「社会を明るくする運動」等の活動が実施できなかったため、交付できなかった。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : (社福)藤沢市社会福祉協議会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容												
	7,058 千円	費目	支出済額 (千円)		地域福祉活動助成金の交付											
財源内訳	R2年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和2年度	常時勤務職員※	0.10人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.10人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
		令和2年度														
	常時勤務職員※	0.10人工														
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
	合計	0.10人工														
	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く															
会計年度任用職員(配置数)	0.00人															
7,058 千円	分担金・負担金															
	使用料・手数料															
	国庫支出金															
	県支出金															
	その他 ( )															
	一般財源	7,058 千円														

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A	9,324	79,037	78,996	7,978
	(1)現金を伴う支出 (千円)	9,349	79,048	78,995	7,978
	事業費(支出済額)	8,382	78,084	78,023	7,058
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	45	47	58	54
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0
	①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0	
③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		21.81   427,501	184.10   429,317	182.41   433,060	18.34   435,121

成果実績	指標名	地域活動ホーム利用者数	目標	300	単位	300	単位	300	単位	300	単位
			実績	298	単位	285	単位	300	単位	293	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1		単位あたりの総費用 A/実績 (円)	31,288.59	277,322.81	263,320.00	27,228.67					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインによる会議等の支援を進める一方で、事業を中止したものもあることから、新しい生活様式に鑑みた事業の実施方法について、改めて検討を行う必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	藤沢市社会福祉協議会や藤沢地区保護司会と協議を進め、新しい生活様式に鑑みた事業の実施方法について見直しを検討する。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市社会福祉協議会への補助金を通じて、地域における担い手である地区社会福祉協議会へ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮したオンラインミーティング等の環境整備や地域活動団体が行う感染防止に関する物品購入等に係る費用に対する助成を実施することで、新しい生活様式に鑑みた地域福祉の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市社会福祉協議会による地域福祉の担い手である地区社会福祉協議会への助成は、各地域と市社会福祉協議会とが連携した取組を実施するための基盤となることから、その重要性が大きい。また、更生保護・再犯防止については、「藤沢市地域福祉計画2026」に位置づけを行っており、藤沢地区保護司会の活動を支援することは必要不可欠なものである。これらのことから、地域福祉の推進を図るため、本事業については、現状のまま維持する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	社会福祉協議会の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	社会福祉総務事務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	013	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	部内で購入する消耗品等の事務経費						
対象	4. その他	部内各課			11	室・課	
根拠法令等							
事業実施内容	部内で他事業に属さない一般事務及び課内一般事務を行い、円滑に部事業を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 279 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	3 千円	会議出席等出張費
		需用費	276 千円	参考図書, 消耗品費
財源内訳	R2年度 支出済額 279 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	279 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	5.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.80人工
合計	6.20人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.70人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	58,779	67,327	79,424	49,367			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	56,865	65,241	76,496	56,185			
	事業費(支出済額)	799	679	2,148	279			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	56,066	64,562	74,348	55,906			
	①常時勤務職員等の給与等	53,470	61,419	69,929	51,436			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,548			
	③退職金相当額	2,596	3,143	4,419	2,922			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,914	2,086	2,928	-6,818			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,914	2,086	2,928	-6,818			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	137.49	427,501	156.82	429,317	183.40	433,060	113.46	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		部内で他事業に属さない一般事務及び課内一般事務を適正に行うことで、部内事業を円滑に進めることができた。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	部内で他事業に属さない一般事務及び課内事務を適正に執行できた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	部内事業を円滑に進めるため、部課内一般事務を今後も適正に行っていく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	藤沢市社会福祉大会に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------



事務事業名	法人等指導監査事務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	020	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3115

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	1 認可等に関する事務 法人設立認可に係る調整及び審査会の開催並びに認可法人の定款変更, 基本財産の処分等に係る審査, 認可等 2 指導監査に関する事務 法人運営及び会計に係る指導監査の実施 3 現況報告書の取りまとめ				
対象	3. 団体	社会福祉法人を設立しようとする事業者又は社会福祉法人	24	法人	
根拠法令等	法律等	社会福祉法			
事業実施内容	1 定款変更認可等審査・承認を行った 5件 2 法人に対する指導監査を実施し, 指摘事項に対して改善措置を講じるよう指導した 1法人 3 現況報告書の取りまとめを行った 24法人				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 76 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	76 千円	参考図書, 消耗品費
財源内訳	R2年度 支出済額 76 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	2 千円	
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	74 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.10人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	17,586	12,062	10,200	10,189			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	17,339	13,450	10,793	10,193			
	事業費(支出済額)	906	923	103	76			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	16,433	12,527	10,690	10,117			
	①常時勤務職員等の給与等	15,672	11,917	10,055	9,522			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	761	610	635	595			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	247	-1,388	-593	-4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	247	-1,388	-593	-4				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	41.14	427,501	28.10	429,317	23.55	433,060	23.42	435,121

成果実績	指標名	実地監査実施法人数	目標	10	単位 法人	13	単位 法人	14	単位 法人	5	単位 法人	
			実績	10	単位 法人	13	単位 法人	14	単位 法人	1	単位 法人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,758,600.00	927,846.15	728,571.43	10,189,000.00						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、実地で行う指導監査の実施数を絞ることとなった。
(2) 課題解決のための今後の取組	令和3年度以降も、新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、感染拡大防止に留意しつつ、実地監査の予定を組むこととする。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	社会福祉法人の現況報告書及び計算書類の確認並びに実地での指導監査を行ったことにより、社会福祉法人の運営等の改善に寄与することができ、その結果、地域福祉の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	社会福祉法人に対する指導監査は、社会福祉法に規定されているため、今後も継続していく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度 I	リスク影響度 II
10	社会福祉法人の設立認可	無	無	1	
11	社会福祉法人に対する指導監査	無	有	2	

※リスク影響度 I・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度 II・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	保健福祉総合システム運用管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	01	細目	022	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	複雑化・多様化する保健福祉業務の実施に当たり、市民サービスの質的向上及びより円滑かつ確実な事務遂行を可能とするため、平成27年度に構築が開始された保健福祉総合システムの保守及び運用管理を行うもの。						
対象	4. その他	保健福祉総合システム利用課及び利用施設				31	課等
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市保健福祉総合システム運用管理に関する要綱						
事業実施内容	保健福祉総合システムの安定稼働のための運用管理を行うとともに、その機器更新に向けた準備のためのシステム改修を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 日本電気株式会社湘南支店 ) (委託等内容 : システム保守, データ標準レイアウト改版対応, 「ささえ」事業の「GPRIM E」への移行対応業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 69,104 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	5 千円	セキュリティ物品購入
		委託料	35,817 千円	システム保守等業務委託
		使用料及び賃借料	33,282 千円	システム機器賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 69,104 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	2,783 千円	
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	66,321 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.30人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
コスト 支出	行政費用 A	52,957	54,789	50,205	72,164				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	56,529	55,779	51,107	71,863				
	事業費(支出済額)	48,796	50,960	49,163	69,104				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	7,733	4,819	1,944	2,759				
	①常時勤務職員等の給与等	7,375	4,584	1,828	2,597				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
	③退職金相当額	358	235	116	162				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,572	-990	-902	301				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	-3,572	-990	-902	301				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		123.88	427,501	127.62	429,317	115.93	433,060	165.85	435,121

成果実績	指標名	システム利用ユーザ登録数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	469	単位	505	単位	524	単位	596	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		組織体制に伴いシステム利用ユーザ登録数は変動するものであり、目標を設定することができないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		112,914.71	108,493.07	95,811.07	121,080.54						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	保健福祉総合システムに係るリース契約期間の満了に伴う機器更新に向けた、機器導入スケジュール及び事務改善を可能とする技術の運用方法の調整。
(2) 課題解決のための今後の取組	保健福祉総合システム利用課等との機器配置や設置体制の変更に伴うレイアウトの調整及び事務改善対象業務の洗い出し。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	平成29年1月から更新・運用が開始された保健福祉総合システムについて、新たな福祉サービスへ対応するためのシステムの保守を行うとともに、セキュリティや個人情報保護など適正な運用管理が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	データ標準レイアウトの改版対応や旧保健福祉総合システム「ささえ」からの事業移管に係るシステム改修等について、遅滞なく対応を行うことで、福祉サービスの維持に努めるとともに、引き続き新たな福祉サービスへの対応、セキュリティや個人情報保護など適正な運用管理を進める。 また、保健福祉総合システムの端末設置に当たり、そのスケジュールの調整を行いながら、本システムを活用した新たな事務改善に係る運用調整を行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
7	保健福祉総合システムの運用管理に関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	特別定額給付金給付事務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	細目	001	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	令和2年4月20日に閣議決定された「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づき、対象者1人につき10万円を給付する「特別定額給付金事業」を実施する。						
対象	2. 世帯	全世帯(2020年4月27日時点)			202,220 世帯		
根拠法令等	その他(要綱等) 令和2年度藤沢市特別定額給付金給付事業実施要綱						
事業実施内容	緊急経済対策の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、家計への支援を行うため給付した特別定額給付金に係る給付事務を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委 託 先 : トッパン・フォームズ株式会社, 株式会社ワイイーシーソリューションズ ) ( 委 託 等 内 容 : 申請書の作成・発送, コールセンター業務, 管理システム構築運用業務 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 369,087 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	2 千円	職員旅費
		需用費	1,148 千円	消耗品費
		役務費	66,805 千円	郵便料・広告料・振込手数料
		委託料	297,277 千円	業務委託料
		使用料及び賃借料	3,855 千円	事務用物品賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 369,087 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	369,087 千円	
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				375,195
	(1)現金を伴う支出 (千円)				373,686
	事業費(支出済額)				369,087
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				4,599
	①常時勤務職員等の給与等				4,328
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				271
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,509
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,509
	③不納欠損額				0
	④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				862.28	435,121

成果実績	指標名	特別定額給付金給付件数	目標				202,220	単位 世帯
			実績				201,147	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	1,865.28	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急経済対策のため、専決処分により4月に補正予算を組んで単年度事業として実施した。
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緊急経済対策の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、家計への支援に繋げることができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	本事業は、新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急経済対策において実施した単年度事業のため、令和2年度末をもって終了。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	特別定額給付金給付事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
	予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	06	細目		001	説明	02	課等の長	矢内 健

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	令和2年4月20日に閣議決定された「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づき、対象者1人につき10万円を給付する「特別定額給付金事業」を実施する。						
対象	2. 世帯	全世帯(2020年4月27日時点)			202,220 世帯		
根拠法令等	その他(要綱等) 令和2年度藤沢市特別定額給付金給付事業実施要綱						
事業実施内容	緊急経済対策の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、家計への支援を行うため、特別定額給付金を給付した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 43,629,900 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	43,629,900 千円	特別定額給付金
財源内訳	R2年度 支出済額 43,629,900 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	43,629,900 千円	
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				43,636,008
	(1)現金を伴う支出 (千円)				43,634,499
	事業費(支出済額)				43,629,900
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				4,599
	①常時勤務職員等の給与等				4,328
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				271
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,509
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,509
	③不納欠損額				0
	④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					100284.77 435,121

成果実績	指標名	特別定額給付金給付件数	目標				202,220	単位 世帯
			実績				201,147	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	216,935.91	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急経済対策のため、専決処分により4月に補正予算を組んで単年度事業として実施した。
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緊急経済対策の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、家計への支援に繋げることができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	本事業は、新型コロナウイルス感染症に伴う国の緊急経済対策において実施した単年度事業のため、令和2年度末をもって終了。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------



事務事業名	災害見舞金関係費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	04	目	01	細目	001	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3113

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づき、自然災害・火災等の被災者に災害弔慰金・見舞金を支給する。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年台風第15号により死亡した1人の方の遺族に対し、災害弔慰金を支給した。</li> <li>火災や台風及び暴風による住家等の被害を受けた6人の罹災者に対し、災害見舞金を支給した。</li> </ul>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 5,470 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	20 千円	委員報酬 2名
		扶助費	5,450 千円	災害弔慰金 1件及び災害見舞金 6件
財源内訳	R2年度 支出済額 5,470 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	3,750 千円	
		その他 ( )		
一般財源	1,720 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.15人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	1,362	5,057	3,656	6,698			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	1,387	4,767	3,654	6,849			
	事業費(支出済額)	420	2,840	1,710	5,470			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	1,927	1,944	1,379			
	①常時勤務職員等の給与等	922	1,833	1,828	1,298			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	94	116	81			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	290	2	-151			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	290	2	-151			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	3.19	427,501	11.78	429,317	8.44	433,060	15.39	435,121

成果実績	指標名	災害弔慰金支給件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	0	単位	2	単位	0	単位	1	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		災害罹災者に対しての支給となり、災害罹災者数については目標を設定することができないため。								
実績1		単位あたりの総費用 A/実績 (円)	-	2,528,500.00	-	6,698,000.00					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	罹災証明書の被災情報に基づいて、災害見舞金等の対応を可能とする制度の構築。なお、本事業については、急遽、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく災害弔慰金の支払いが必要となる案件が発生したことから、12月補正予算を組んで対応を行った。
(2) 課題解決のための今後の取組	本市災害見舞金の制度について改正を行うとともに、関係課と運用の調整を行う。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	災害弔慰金・見舞金を支給したことにより、罹災者の生活の安定が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	自然災害・火災等の被災者の生活の安定を図るため、引き続き災害弔慰金・見舞金を支給する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	災害援護事業	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	休日・夜間急病診療所運営費等補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	・藤沢市医師会が運営する休日・夜間急病診療所(保健医療センター・藤沢市医師会館併設)の運営費に対して補助する。 ・湘南東部医療圏(藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町)及び鎌倉市において輪番で実施する休日眼科救急医療の運営費に対して補助する。 ・藤沢市薬剤師会が南休日・夜間急病診療所で実施する薬剤師派遣事業の運営費に対して補助する。 ※本事業は, 令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したもの。						
対象	1. 個人	市民			435,121	人	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会が運営する休日・夜間急病診療所(保健医療センター・藤沢市医師会館併設), 湘南東部医療圏(藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町)及び鎌倉市において輪番で実施する休日眼科救急医療, 藤沢市薬剤師会が南休日・夜間急病診療所で実施する薬剤師派遣事業それぞれの運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会, 一般社団法人藤沢市薬剤師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 114,702 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	101,650 千円	休日・夜間急病診療所運営事業補助金
		負担金補助及び交付金	622 千円	眼科救急医療運営事業補助金
		負担金補助及び交付金	12,430 千円	南休日・夜間急病診療所薬剤師派遣事業補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 114,702 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	5,029 千円	
その他( )				
一般財源	109,673 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	115,491	115,613	118,280	115,622			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	115,516	115,624	118,279	115,622			
	事業費(支出済額)	114,549	114,660	117,307	114,702			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	270.15	427,501	269.30	429,317	273.13	433,060	265.72	435,121

成果実績	指標名	休日・夜間急病診療所取扱患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			23,516	単位	22,094	単位	18,960	単位	6,571	単位
					人		人		人		人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,911.17		5,232.78		6,238.40		17,595.80		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携調整を行い、休日・夜間等の一次救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制を維持することは、市民が安全・安心な生活を送る上で重要な要素となるため、事業実績や他市の状況を参考に、今後も持続可能な事業となるよう検討を進める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	在宅当番医制運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
	予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目		006	説明	02	課等の長	関根 達郎

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市医師会が運営し、市内医療機関で実施されている在宅当番医制(外科・産科)の運営費に対して補助する。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会が運営し、市内医療機関で実施されている在宅当番医制(外科・産科)の運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 11,360 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	11,360 千円	在宅当番医制運営事業補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 11,360 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	11,360 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A	12,302	12,473	13,133	12,280
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,327	12,484	13,132	12,280
	事業費(支出済額)	11,360	11,520	12,160	11,360
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	45	47	58	54
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	28.78	29.05	30.33	28.22	
	427,501	429,317	433,060	435,121	

成果実績	指標名	在宅当番医制取扱患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			2,694	単位	3,058	単位	2,913	単位	1,844	単位
					人		人		人		人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,566.44		4,078.81		4,508.41		6,659.44		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携・調整を行い、休日・夜間等の一次救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制を維持することは、市民が安全・安心な生活を送る上で重要な要素となるため、事業実績や他市の状況を参考に、今後も持続可能な事業となるよう検討を進める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	病院群輪番制運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	03	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 53 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市医師会が土曜・休日及び夜間における二次救急医療として運営し、市内の病院で実施されている病院群輪番制の運営費に対して補助する。また、三次救急医療支援として行われる藤沢市民病院救命救急センターからの転送患者の受け入れに係る経費を補助する。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。				
対象	1. 個人	市民			435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱, 藤沢市病院群輪番制病床確保対策費補助金交付要綱				
事業実施内容	藤沢市医師会が土曜・休日及び夜間における二次救急医療として運営し、市内の病院で実施されている病院群輪番制の運営費及び、三次救急医療支援として行われる藤沢市民病院救命救急センターからの転送患者の受け入れに係る経費に対し補助を行った。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 80,795 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	80,465 千円	病院群輪番制運営事業補助金
		負担金補助及び交付金	330 千円	病院群輪番制病床確保対策費補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 80,795 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	80,795 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	79,416	79,198	80,054	81,715			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	79,441	79,209	80,053	81,715			
	事業費(支出済額)	78,474	78,245	79,081	80,795			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	185.77	427,501	184.47	429,317	184.86	433,060	187.80	435,121

成果実績	指標名	病院群輪番制取扱患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			4,016	単位	4,606	単位	3,045	単位	4,810	単位
					人		人		人		人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が成果とは言えないため、目標値は設定しない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		19,774.90		17,194.53		26,290.31		16,988.57		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携・調整を行い、令和2年10月からはこれまで体制が整っていなかった土・休日の昼間に内科診療を拡充実施し、休日・夜間等の二次救急医療体制の充実に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制を維持することは、市民が安全・安心な生活を送る上で重要な要素となるため、事業実績や他市の状況を参考に、今後も持続可能な事業となるよう検討を進める。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------



事務事業名	休日急患歯科診療所運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	04	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 51 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市歯科医師会が運営する休日急患歯科診療所(口腔保健センター)の運営費に対して補助する。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市救急医療運営費等補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市歯科医師会が運営する休日急患歯科診療所(口腔保健センター)の運営費に対して補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市歯科医師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 7,808 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	7,808 千円	休日急患歯科診療所運営事業補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 7,808 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	7,808 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	10,987	8,679	9,523	8,728			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,012	8,690	9,522	8,728			
	事業費(支出済額)	10,045	7,726	8,550	7,808			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	25.70	427,501	20.22	429,317	21.99	433,060	20.06	435,121

成果実績	指標名	休日急患歯科診療所患者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			563	単位	537	単位	607	単位	427	単位
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			19,515.10	人	16,162.01	人	15,688.63	人	20,440.28	人
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			補助事業であること、また、患者数が増えること自体が成果とは言えないため、目標値は設定しない。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市歯科医師会と連携・調整を行い、休日の歯科救急医療体制の維持に努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	救急時の医療体制を維持することは、市民が安全・安心な生活を送る上で重要な要素となるため、事業実績や他市の状況を参考に、今後も持続可能な事業となるよう検討を進める。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	休日・夜間発熱患者診療事業運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	006	説明	05	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下において、市内における発熱者に対する医療提供体制を確保する必要があることから、藤沢市医師会が実施する、休日・夜間発熱患者診療事業に対し運営費(人件費相当)を補助する。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。				
対象	1. 個人	市民			435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市休日・夜間発熱患者診療事業運営費補助金交付要綱				
事業実施内容	藤沢市医師会が実施する、休日・夜間発熱患者診療事業に対し運営費(人件費相当)を補助した。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 14,828 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	14,828 千円	休日・夜間発熱患者診療事業運営費補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 14,828 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	14,828 千円	
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				16,050
	(1)現金を伴う支出 (千円)				15,748
	事業費(支出済額)				14,828
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				920
	①常時勤務職員等の給与等				866
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				54
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				302
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				302
	③不納欠損額				0
④その他 ( )				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					36.89 435,121

成果実績	指標名	発熱診療事業取扱患者数	目標					-	単位
			実績					1,724	単位
									人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		補助事業であること、また、患者数が増えること自体が成果とは言えないため、目標値は設定しない。						
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	9,309.74	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市医師会と連携し、休日・夜間等の発熱者に対する医療提供体制を整備した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	新型コロナウイルス感染症の感染状況等に鑑みて、事業の在り方について検討していく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	産科医師等分娩手当補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
	予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目		007	説明	01	課等の長	関根 達郎

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	市内の産科医療の確保と充実を図るため、分娩を取扱う産科医等に対し、分娩を取り扱った際に支給される手当(分娩手当)についての補助を行う。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。						
対象	3. 団体	市内分娩取扱医療機関			2	機関	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市産科医師等分娩手当補助金交付要綱						
事業実施内容	市内2医療機関に対し、分娩手当の補助を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 市内分娩取扱医療機関 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 2,229 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	2,229 千円	産科医師等分娩手当補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 2,229 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	2,229 千円	
		その他 ( )		
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A	2,651	2,199	3,166	3,149
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,676	2,210	3,165	3,149
	事業費(支出済額)	1,709	1,246	2,193	2,229
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	45	47	58	54
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	6.20 427,501	5.12 429,317	7.31 433,060	7.24 435,121	

成果実績	指標名	補助対象分娩取扱件数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			513	単位	374	単位	658	単位	669	単位
					件		件		件		件
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			本事業の性質から、医療機関の分娩取扱件数を目標とすることはできないため、目標値は設定しない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			5,167.64		5,879.68		4,811.55		4,707.03		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

#### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

#### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	分娩取扱医療機関、産婦人科医師等及び助産師の確保と充実を図るため、分娩取扱件数に応じて支給される分娩手当の一部を補助した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	分娩取扱医療機関、産婦人科医師等及び助産師の確保と充実を図るため、今後も継続して補助を行っていく。	

#### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

#### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	保健医療センター運営管理費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	009	説明	01	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	平成 6 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	保健医療センターの管理等施設維持業務について藤沢市保健医療財団に委託し、施設維持等を行う。また、同財団事務局運営に係る人件費の補助を行う。						
対象	3. 団体	公益財団法人藤沢市保健医療財団			1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 公益財団法人藤沢市保健医療財団運営補助金交付要綱						
事業実施内容	①保健医療センターの管理等施設維持業務 ②保健医療センターの案内等受付業務 ③保健医療センター内の情報システム運用管理 ④診療情報案内システムの運用 ⑤人件費の補助						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 公益財団法人藤沢市保健医療財団) (委託等内容 : 保健医療センター運営管理業務) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 公益財団法人藤沢市保健医療財団) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 123,055 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	92,996 千円	保健医療センター運営管理業務
		使用料及び賃借料	2,297 千円	駐車場用地賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 123,055 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (建物貸付収入)	247 千円	
一般財源	122,808 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	111,687	110,919	160,380	176,291			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	111,788	110,661	111,119	126,733			
	事業費(支出済額)	107,921	105,842	107,232	123,055			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	3,867	4,819	3,887	3,678			
	①常時勤務職員等の給与等	3,688	4,584	3,656	3,462			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	179	235	231	216			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-101	258	49,261	49,558			
	①減価償却費	0	0	49,559	49,559			
	②退職給与引当金繰入額	-101	258	-298	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	261.26	427,501	258.36	429,317	370.34	433,060	405.15	435,121

成果実績	指標名	健診・検査外来受診者、及び健康づくり事業利用者	目標	81,925	単位	90,171	単位	91,305	単位	93,106	単位
			実績	84,294	単位	108,171	単位	90,042	単位	62,556	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,324.97	1,025.40	1,781.17	2,818.13					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	平成6年度の保健医療センター開設から26年が経過し、経年劣化による施設・設備の老朽化が進んでいる。
(2) 課題解決のための今後の取組	定期的な保守点検や必要なメンテナンスを行うことにより、今後も適正な施設の運営管理を行っていく。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	不具合が発生した施設・設備については随時修繕等を実施して原状回復し、施設内における各事業運営に支障がないよう適正に施設運営管理業務を行うことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	保健医療センター内において各関係機関(保健医療財団、医師会、歯科医師会、地域包括支援センター、デイサービスセンター、健康づくり課)が、円滑に事業を運営できるよう施設の総合管理(清掃、機械設備の運用及び保守点検等)を効率的かつ経済的に行っていく。また、公益目的事業を実施している保健医療財団の安定的な事務局運営のため、人件費補助を行っていく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
16	保健医療財団の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------



事務事業名	保健医療センター整備事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
	予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目		009	説明	02	課等の長	関根 達郎

1. 事業概要

事業開始年度	平成 6 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	保健医療センター施設の適正な運営管理のため、施設及び設備の整備を行う。						
対象	4. その他	藤沢市保健医療センター			1	施設	
根拠法令等							
事業実施内容	保健医療センターに設置されている火災報知設備等の更新工事を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	20,687 千円	費目	支出済額(千円)		主な事業内容
		工事請負費	20,687 千円		火災報知設備の更新工事
財源内訳	R2年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和2年度	
	20,687 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.10人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
その他 ( )		0.10人工			
一般財源	20,687 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く			
				会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	67,956	0	66,432	21,607			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	67,981	0	66,130	21,607			
	事業費(支出済額)	67,014		65,158	20,687			
	償還金利息	0		0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	0	972	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922		914	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0		0	0			
	③退職金相当額	45		58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	0	302	0			
	①減価償却費	0		0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25		302	0			
	③不納欠損額	0		0	0			
④その他 ( )	0		0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	158.96	427,501	0.00	429,317	153.40	433,060	49.66	435,121

成果実績	指標名	健診・検査外来受診者, および健康づくり事業利用者	目標	81,925	単位	人	90,171	単位	人	91,305	単位	人	93,106	単位	人
			実績	84,294	単位	人	108,171	単位	人	90,042	単位	人	62,556	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			806.18		0.00		737.79		345.40						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

#### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設全体として老朽化が進行しているため、今後も耐用年数が経過して更新が必要な機械設備や、施設維持のために改修を必要とするものがある。
(2) 課題解決のための今後の取組	公共建築課と調整しながら、電気設備、機械設備、建物施設等の整備計画を策定する。

#### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	火災報知設備等の更新工事にあたっては、施設内で事業を行っている関係機関と調整しながら、事業運営に支障が生じないよう詳細な工事工程を組んで安全かつ適正に実施した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	優先順位を考慮した施設・設備の整備計画を立て、事業費の削減を図りながら、施設及び設備の整備を進める。	

#### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
16	保健医療財団の補助・委託事業及び関連事業・業務指導	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

#### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	保健衛生総務費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	011	説明	01	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	救急医療機関外国籍市民対策費補助金,藤沢市口腔保健センター再整備資金借入補助金の交付を行う。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したものの。						
対象	3. 団体	公益社団法人藤沢市歯科医師会			1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市救急医療機関外国籍市民対策費補助金交付要綱, 口腔保健センター再整備資金借入補助金交付要綱					
事業実施内容	藤沢市歯科医師会が行った口腔保健センター再整備事業での資金借入への返済金に対して補助を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市歯科医師会 )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,971 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	1,971 千円	藤沢市口腔保健センター再整備資金借入補助金
財源内訳	R2年度 支出済額 1,971 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	1,971 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	-3,493	2,924	2,944	2,891			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,938	2,935	2,943	2,891			
	事業費(支出済額)	1,971	1,971	1,971	1,971			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-6,431	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-6,431	-11	1	0				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	-8.17	427,501	6.81	429,317	6.80	433,060	6.64	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資金借入に対する返済金の補助のため指標の設定が困難である。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	補助金の交付により、市民の口腔保健の向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き、補助金の交付により衛生行政を円滑に遂行していく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	補助金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	医師会立看護専門学校運営費補助金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	健康医療部地域医療推進課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	013	説明	01	課等の長	関根 達郎	電話	7131

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南東部医療圏(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)における看護師不足の解消を図るため、藤沢市医師会が運営する看護専門学校の運営費に対し、補助を行うもの。 ※本事業は、令和3年度から福祉健康総務課から事務移管したもの。						
対象	3. 団体	公益社団法人藤沢市医師会			1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市医師会立湘南看護専門学校運営費補助金交付要綱						
事業実施内容	藤沢市医師会立湘南看護専門学校の運営費の一部を補助した。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 公益社団法人藤沢市医師会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 22,109 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	22,109 千円	運営費の一部補助
財源内訳	R2年度 支出済額 22,109 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他(土地貸付収入)	1,800 千円			
一般財源	20,309 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.10 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	14,648	25,592	23,753	22,727			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,673	25,000	24,053	23,029			
	事業費(支出済額)	13,706	22,109	22,109	22,109			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	2,891	1,944	920			
	①常時勤務職員等の給与等	922	2,750	1,828	866			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	141	116	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	592	-300	-302			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	592	-300	-302			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	34.26	427,501	59.61	429,317	54.85	433,060	52.23	435,121

成果実績	指標名	医療圏の医療機関への就職人数	目標	40	単位 人	40	単位 人	40	単位 人	40	単位 人
			実績	40	単位 人	32	単位 人	34	単位 人	30	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		366,200.00		799,750.00		698,617.65		757,566.67			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	医師会立湘南看護専門学校への支援と今後の学校運営のあり方について
(2) 課題解決のための今後の取組	湘南東部医療圏における看護師不足は顕著であり、地域包括ケアシステムの推進には、在宅医療に関する看護師の確保がさらに必要になり、看護師養成施設の重要性が増すため、藤沢市医師会及び関係機関と協議を継続する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	同学校の卒業生(6回生)が2市1町の医療機関に30人就職したことから、湘南東部医療圏における看護師不足の解消を図る目的に対し、効果を十分に発揮している。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	湘南東部医療圏における看護師不足は顕著であり、地域包括ケアシステムの推進には、在宅医療に関する看護師の確保がさらに必要になり、看護師養成施設の重要性が増すため、藤沢市医師会及び関係機関と協議を継続する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
13	湘南看護専門学校に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	健康医療部	氏名	齋藤 直昭	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	帰国者・接触者外来等医療従事者支援金										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	014	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	「帰国者・接触者外来」を設置する市内民間医療機関において、新型コロナウイルス感染症対応の現場に従事する医療従事者に対し、支援金を支給する。						
対象	4. その他	「帰国者・接触者外来」を設置する市内民間医療機関において新型コロナウイルス感染症対応の現場に従事する医療従事者					
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市帰国者・接触者外来等医療従事者支援金交付要綱						
事業実施内容	「帰国者・接触者外来」を設置する市内民間医療機関において、新型コロナウイルス感染症対応の現場に従事する医療従事者に対し、支援金を支給することで、高い感染リスクを背負い、最前線の現場を支える医療従事者を支援した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (「帰国者・接触者外来」を設置する市内民間医療機関において新型コロナウイルス感染症対応の現場に従事する医療従事者に支援金を支給)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 8,736 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	8,736 千円	帰国者・接触者外来等医療従事者支援金
財源内訳	R2年度 支出済額 8,736 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	8,736 千円	
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				9,958
	(1)現金を伴う支出 (千円)				9,656
	事業費(支出済額)				8,736
	償還金利子				0
	人件費合計(①+②+③)				920
	①常時勤務職員等の給与等				866
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				54
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				302
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				302
	③不納欠損額				0
	④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					22.89 435,121

成果実績	指標名	目標					-	単位
		実績					-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		高い感染リスクを背負い、最前線の現場を支える医療従事者を支援することができた。					
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

#### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、医療がひっ迫する中、6月補正予算を組んで単年度事業として実施した。
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし。

#### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	高い感染リスクを背負い、最前線の現場を支える医療従事者を支援することができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	感染症という緊急事態に対応する単年度事業のため。	

#### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

#### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------



事務事業名	医療・福祉応援事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	01	細目	015	説明	01	課等の長	矢内 健	電話	3111

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	医療及び福祉・介護の最前線で働く人々を応援するため、市内医療機関・福祉事業所等を対象に、補助金交付及び感染症対策用品配付を行う。						
対象	3. 団体	市内医療機関・福祉事業所等			2,112	箇所	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市医療・福祉応援事業補助金交付要綱						
事業実施内容	医療及び福祉・介護の最前線で働く人々を応援するため、市内医療機関・福祉事業所等を対象に、補助金交付及び感染症対策用品配付を行った。 補助金交付 交付対象 860医療機関 感染症対策用品 配付対象 1,252福祉事業所等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 45,230 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	18,218 千円	感染症対策用品等購入
		役務費	1,212 千円	郵便料
財源内訳	R2年度 支出済額 45,230 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		負担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (医療・福祉応援寄付金)	42,211 千円			
一般財源	3,019 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.10人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				51,559
	(1)現金を伴う支出 (千円)				50,050
	事業費(支出済額)				45,230
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				4,820
	①常時勤務職員等の給与等				4,328
	②会計年度任用職員の報酬等				221
	③退職金相当額				271
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,509
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,509
	③不納欠損額				0
④その他 ( )				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				118.49	435,121

成果実績	指標名	感染症対策用品提供事業所等数	目標				2,112	単位 箇所
	実績						2,112	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	24,412.41	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	医療及び福祉・介護等の最前線で働く人々を応援するため、12月補正予算を組んで単年度事業として実施した。
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症流行下において、医療及び福祉・介護等の現場で働く人々を応援することができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	本事業は、令和3年3月31日まで受け付けた「藤沢市医療・福祉応援寄附金」等を活用し実施した単年度事業のため、令和2年度末をもって終了。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------

事務事業名	感染症対策事業費										担当課	部課名	福祉健康部福祉健康総務課			
												新部課名	福祉部福祉総務課			
	予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	05	細目		002	説明	01	課等の長	矢内 健

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	新型コロナウイルス感染症に伴うPCR検査会場の増設を行う。						
対象	1. 個人	市内の医療機関でPCR検査が必要だと診断された方					
根拠法令等							
事業実施内容	新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、PCR検査会場を増やし、迅速に検査を行うため、保健所外にPCR検査会場を新たに設置した。 ・設置日数 13日 ・PCR検査数 131件						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委 託 先 : 公益社団法人藤沢市医師会 ) ( 委 託 等 内 容 : PCR検査センター運營業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 5,717 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	5,717 千円	PCR検査センター運營業務委託
財源内訳	R2年度 支出済額 5,717 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	5,717 千円	
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源				

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.20人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.20人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				8,159
	(1)現金を伴う支出 (千円)				7,556
	事業費(支出済額)				5,717
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				1,839
	①常時勤務職員等の給与等				1,731
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				108
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				603
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				603
	③不納欠損額				0
	④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				18.75	435,121

成果実績	指標名	PCR検査数	目標					-	単位
			実績					131	単位
									件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		新型コロナウイルス感染症のPCR検査が必要だと診断された方に対し検査するものであるため、検査数について目標を設定できないため。						
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	62,282.44	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

#### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、PCR検査会場を増やし、迅速に検査を行うため、専決処分により4月に補正予算を組んで単年度事業として実施した。
(2) 課題解決のための今後の取組	特になし。

#### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症のPCR検査が必要だと診断された方に対し、迅速に検査を行うことによって、更なる感染拡大の防止を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	第1回目の緊急事態宣言下という状況での緊急事態に対応する単年度事業のため。	

#### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

#### 8. 部長確認欄

部名	福祉部	氏名	池田 潔	確認日	2021/8/31
----	-----	----	------	-----	-----------